

2013 年度事業報告

■概要

当団体の活動の柱である譲渡は、犬 638 頭、猫 880 頭の合計 1,518 頭で、昨年度犬猫合計 1,370 頭から 148 頭の増加となりました。

特に犬の譲渡数の伸びが大きく、昨年度の 515 頭から 120 頭以上増やすことができました。しかし、猫は昨年度と同程度にとどまり、数年来の目標である犬猫合計 1,600 頭に対して達成率 94.9%と、あと一步届かない結果でした。

犬猫ともに受入数が増えたため、飼育管理の困難が予想されましたが、死亡率は犬 13%(前年度 16%)、猫 9%(前年度 7%)と低水準を維持することができ救命数の増加につながりました。

犬	受入数	譲渡数	受入後死亡数	死亡率
2012 年度	634	515	104	16.4%
2013 年度	774	638	107	13.8%

猫	受入数	譲渡数	受入後死亡数	死亡率
2012 年度	921	862	62	6.7%
2013 年度	1,005	880	90	9.0%

■飼育管理の効率について

2013 年度の飼育管理の効率に関わる指標をご報告します。

犬は飼育における効率に大きな変化はありませんでしたが、抱えられる動物が増えたことで譲渡増に貢献しました。

猫は滞在日数を 50 日に減らすことで譲渡増につなげることを目標にしていました。残念ながら結果は 61 日と達成できませんでしたが、全体的に大幅な効率化をすることができましたので、今後の救命数増加につなげられるものと考えています。

飼育効率 の指標	犬		猫	
	1頭の平均 滞在日数	総飼育日数	1頭の平均 滞在日数	総飼育日数
2012年度	40	25,497	88	81,047
2013年度	37	28,748	61	60,956

■譲渡会の大型化について

譲渡能力強化の柱として目標にしていた譲渡会強化については、本格的に着手できないまま開催回数を減らす結果となってしまいました。

犬については1開催あたりの譲渡数が増えたため、総譲渡数に変化はありませんでしたが、猫は譲渡機会を逃した可能性が高く、今後の課題と考えています。

猫	シェルター譲渡	譲渡会	開催回数	譲渡会平均
2012年度	709	153	19	8.1
2013年度	795	85	10	8.5
犬	シェルター譲渡	譲渡会	開催回数	譲渡会平均
2012年度	432	83	15	5.5
2013年度	555	84	10	8.4

また譲渡会に連動して行う予定だったチラシ配布も、譲渡会が減ったことからネット広告に対する優位性が見出せず着手しませんでした。

■移転について

2012年4月に施設を移転しましたが、未だ移転費用の赤字を補てんするにとどまっています。こうした事情から大きな進捗はなく、特にドッグラン側の設備完成が大幅に遅れています。

支出	2011年度	2012年度	2013年度	合計
建物・工事	4,033,350	15,262,550	0	19,295,900
資材・消耗品	1,366,666	2,153,962	487,762	4,008,390
家具・備品	213,630	1,055,013	0	1,268,643
地代家賃	1,356,600	512,934	0	1,869,534
租税公課	260,850	56,775	259,600	577,225

保証金	2,616,500	500,000	0	3,116,500
支払手数料	900,732	932,010	0	1,832,742
その他	4,410	55,965	0	60,375
支出計	<u>10,752,738</u>	<u>20,529,209</u>	<u>747,362</u>	<u>32,029,309</u>
収入	2011 年度	2012 年度	2013 年度	合計
支援金	23,726,545	5,319,905	2,286,571	31,333,021
収入計	<u>23,726,545</u>	<u>5,319,905</u>	<u>2,286,571</u>	<u>31,333,021</u>
収支差額				<u>-696,288</u>

■その他の事業計画に対する結果について

<面会申込数の増加>

指標としてインターネットからの面会申込数をご報告します。

犬は面会数の伸びがそのまま譲渡数に反映されていますが、猫では反映されておらず、譲渡の機会を逃している結果となりました。

原因はマッチングの問題、面会時の対応の問題、カジュアルな面会者が増えたことなどが考えられますので詳細に分析して来年度に活かしたい考えです。

年度	犬シェルター	犬譲渡会	犬面会計	猫シェルター	猫譲渡会	猫面会計
2012	639	206	845	794	303	1097
2013	900	195	1095	1036	194	1230

<活動拠点の拡大>

当団体自身ではありませんが、姉妹団体であるライフポート中部が施設の移転を進めています。実現すれば飼育頭数を数倍に増やせる可能性があります。

あくまで主体はライフポート中部ですが、当団体でも施設移転やホームページ制作などのノウハウを活かし、裏方として協力を行っています。

■支援金の大幅減少について

当団体活動に関する重要事項のためご報告いたします。

当団体は多くの方からのご支援で成り立っていますが、特に 2006 年から参加させていただいてい

るYahoo!ネット募金では、Yahoo!の圧倒的なアクセス数に支えられた多額のご寄付を頂戴し、ご寄付全体の6割を占めるまでになっていました。

しかし2013年夏の同募金の決済システム変更により、これまでの継続寄付者は再度の申し込みが必要となり、結果、寄付額が1/5にまで減ってしまいました。

引き続きご寄付頂けなかったことは、当団体活動の至らなさと認識しております。

その後Yahoo!以外の決済システムも含めた支援金は徐々に回復していますが、半分程度にとどまり、既定路線で活動を維持するのは非常に難しい状況です。

こうした状況を真摯に受け止め、当団体は自分たちの存在意義を改めて見直した上で、皆様にも改めてご支援をお願いして活動を続けたいと思っています。

■総括

譲渡増に注力するという2013年度の主旨はある程度実現することができました。

しかし更に多くの命を救い、殺処分ゼロを実現するには、既定路線にとらわれず、もっともっと大きな発想で取り組む必要があることを実感した一年でもありました。

この反省を今後に活かしますので、今後とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

以上